

The 2nd Basic Plan of Kisarazu City

概要版

木更津市

第2次基本計画



木更津市

第2次基本計画

The 2nd Basic Plan of Kisarazu City

『地域創生』
木更津イノベーション



はじめに

このたび、本市のまちづくりの新たな指針となる、2019年度から2022年度までの「木更津市第2次基本計画」を策定いたしました。

本市においては、東京湾アクアライン通行料金引下げの波及効果等により、定住・交流人口が増加する中で、まちの活力が高まっております。

一方で、日本全体では、少子高齢化の進行とともに、人口減少社会が到来しており、本計画期間内での人口増加を見込む本市においても、近い将来の人口減少を見据え、持続可能なまちづくりを進めていかなければなりません。

これからの4か年は、本市が新たなステージに向かう大切な期間であり、本市が進める「オーガニックなまちづくり」を重要な視点と捉え、未来に向けた発想の転換によるイノベーション(変革)を意識しながら、市民のチャレンジが育まれ、人・もの・文化が循環する、自立した地域づくり『地域創生』を推進してまいります。

今後は、本計画に基づき、木更津市基本構想に掲げる将来都市像「魅力あふれる 創造都市 きさらづ ～東京湾岸の人とまちを結ぶ 躍動するまち～」の実現に向け、市民の皆様とともに、「オーガニックなまちづくり」のステップアップを図るため、各施策に取り組んでまいりますので、さらなるご理解とご協力をお願い申し上げます。

本計画の策定にあたり、ご尽力を賜りました都市総合開発審議会委員をはじめ、市民アンケート調査で貴重なご意見をいただきました市民の皆様に心からお礼申し上げます。

平成31年3月

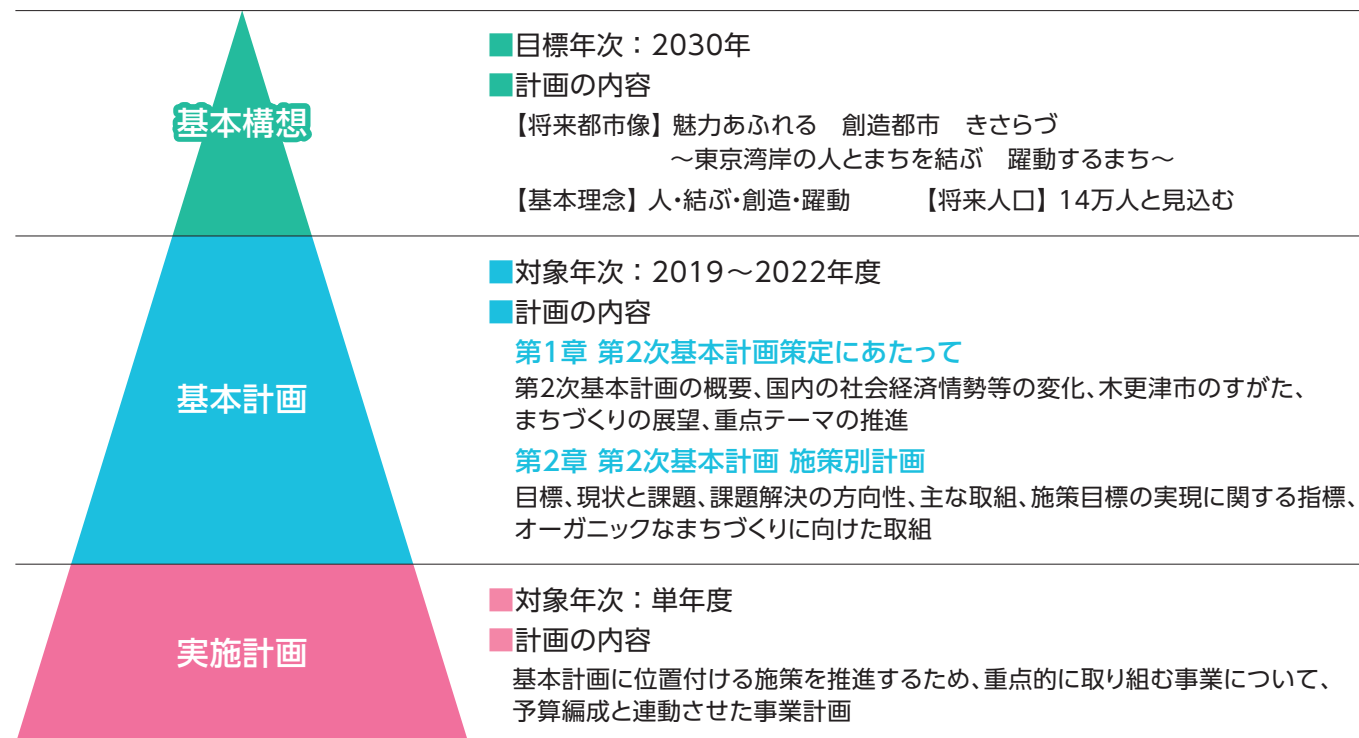
木更津市長

渡辺芳和

第2次基本計画の策定趣旨と位置づけ

第2次基本計画は、2019年度～2022年度の4か年を対象年次とし、基本構想に掲げる将来都市像の実現に向けた土台を築くため、諸施策に取り組んできた第1次基本計画を引き継ぎ、未来への変革期に対応する重要な計画であると捉え、今後のまちづくりの展望や重点テーマ、基本政策別の施策の方向性を示します。また、市民のチャレンジを育み、一人ひとりが活力ある未来を実感できる計画とします。

木更津市総合計画の構成



オーガニックなまちづくりの推進（計画の重要な視点）

本市では、「持続可能な未来を創るため、地域、社会、環境等に配慮し、主体的に行動しようとする考え方」を「オーガニック」という言葉で捉えています。そして、地域社会を構成する多様な主体が一体となり、本市を「人と自然が調和した持続可能なまち」として次世代に継承しようとする取組である「オーガニックなまちづくり」を推進しています。

本計画の推進には、「オーガニック」を重要な視点と捉え、各施策に取り組めます。



計画事業費^{※1}

第2次基本計画では、未来を見据えた計画的な行財政運営に向けて、「中期財政計画」との整合を図り、4か年に重点的に実施する事業を基本計画事業として位置づけました。

基本方向	計画期間の事業費総額（単位：百万円）
安心・安全でいきいきとした暮らしづくり	2,678
子どもを育む環境づくり	2,250
まちを支える人づくり	1,329
まちのにぎわい・活力づくり	862
まちの快適・うるおい空間づくり	10,692
構想の実現に向けて	2,472
合計	20,283

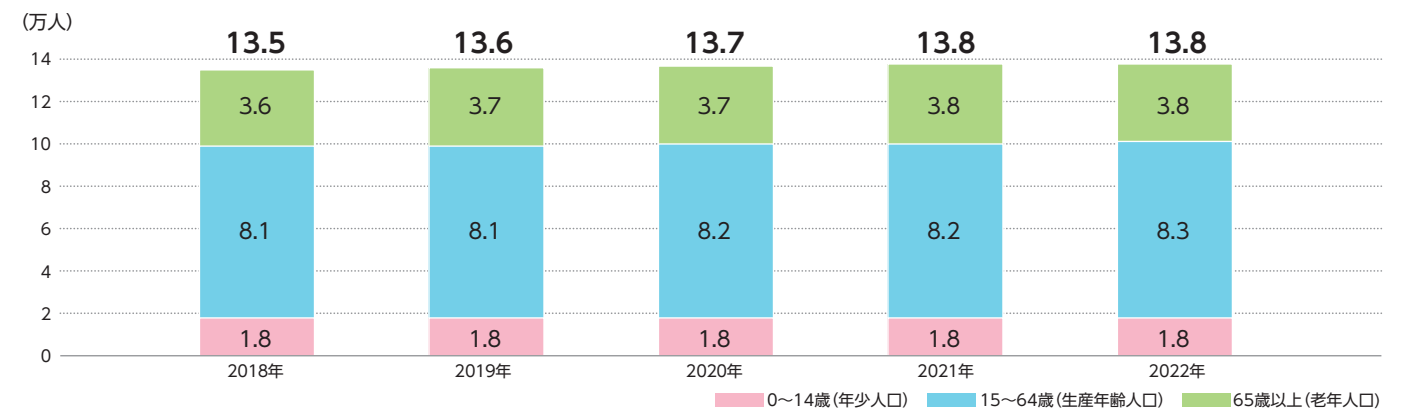
※1 毎年度見直しを実施しますので、今後事業費総額は変動します。

将来人口の見通し

本計画期間の人口推計では、2019年の約13万6千人から、2022年の約13万8千人へと、人口の増加が見込まれています。

一方で、本市における社会増数は、ピーク時の約半数になっており、この状況や社会情勢等を踏まえると、本計画期間においては、人口の増加が見込める状況であるとはいえ、将来の人口減少に備えることが必要です。そのためには、各施策を着実に推進し、多様なライフスタイルに応じた市民サービスの充実を図るとともに、移住・定住の促進によりさらなる人口増をめざします。

人口の推移（見込み）^{※2}



※2 四捨五入の都合上、年齢3区分別人口と総人口の合計は一致しないことがあります。

重点テーマの推進 ～『地域創生』に向けた木更津イノベーション～

本計画では、これからの4か年を本市が新たなステージに向かう大切な変革期と捉えています。「オーガニックなまちづくり」のステップアップを着実に図るため、未来に向けた発想の転換によるイノベーション(変革)を意識しながら、市民のチャレンジが生まれ、人・もの・文化が循環する、自立した地域づくりを推進します。

第2次基本計画重点テーマ

人がつながり支え合う
まちづくり

木更津
イノベーション

多様な地域資源を磨く
まちづくり

ふるさとの未来に責任を持つ
まちづくり

1. 人がつながり支え合うまちづくり

安心して子育てできる環境や、誰もが働きやすい就業環境の整備、高齢者の健康づくりをはじめ、市民の地域活動への参加促進や商店街の賑わいづくり、地域交通網の整備や地域防災力の向上に取り組めます。

● 主な取組

- 1 妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援や、次代を担う児童・生徒の育成をはじめ、良好な教育環境を提供することにより、本市で生まれ育つ子どもの健やかな成長を支援します。
- 2 待機児童を解消し、保護者が安心して働ける環境を整備するとともに、高齢者、障がいのある方や外国人など、様々な人々が活躍できる就業機会の創出を支援します。
- 3 健康で自立した生活が続けられるよう、健康寿命の延伸に取り組むとともに、地域包括ケアシステムの推進により、高齢者が地域で安心して暮らし続けるための福祉サービスの充実や生きがいづくりに努めます。
- 4 自治会、市民活動団体や地区まちづくり協議会等に対する支援や、市民参加への行政ポイント制度等により、地域活動を活性化させ、子どもから高齢者まで、誰もが貢献し合える地域コミュニティを育てます。
- 5 電子地域通貨「アクアコイン」の普及推進を図り、商店街等の身近な地域での消費活動を高めることで、市内の賑わい創出を図ります。
- 6 自治会が運営するバス等の新たな交通システム導入に向けた取組を推進し、特に郊外部に住む市民の買物や通院など、日常生活における交通利便性を高めます。
- 7 防災行政無線等の基盤整備を推進するなど、防災力の充実を図るとともに、自主防災組織の活性化を通じ、地域で助け合える地域防災力の向上に取り組めます。

2. 多様な地域資源を磨くまちづくり

木更津駅周辺及び木更津港内港地区の新たな拠点づくりや、効果的な情報発信に取り組み、本市への移住・定住及び企業誘致の促進、観光の振興を図ります。

加えて、本市の地域資源を磨き上げ、まちの魅力としての付加価値を持たせ活用することで、今後の成長力強化を図ります。

● 主な取組

- 1 公共交通機関のターミナルである木更津駅を中心に、様々な都市機能をコンパクトに集約するとともに、市内各地域の拠点づくり及びネットワーク化を進めます。
- 2 みなと周辺の憩いの空間を整備する「パークベiproジェクト」の推進と、木更津駅周辺へのマンション建設促進の相乗効果などにより、中心市街地の活性化に取り組めます。
- 3 未来志向の若者や子育て世代を主なターゲットに据え、多様なライフスタイルが実現できる「都心に一番近い田舎」など、本市の魅力に関する効果的な情報発信を行い、移住・定住者の増加を図ります。
- 4 東京湾アクアラインや首都圏中央連絡自動車道など、広域幹線道路網の整備によるアクセス面での優位性や立地環境の良さを活かした企業誘致を推進します。
- 5 木更津版DMO^{※1}と連携し、自然や歴史・文化等の観光資源を活用した回遊性向上の取組や、国内外の大型クルーズ船寄港、ホテルシップ誘致などの推進に伴い増加が期待される訪日外国人への対応を強化しながら、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会などの機会を捉え、国内外の観光客の受入増大を図ります。
- 6 地産地消の推進や農林水産物のブランド化支援等による地場産品の流通・消費拡大を図るとともに、環境にやさしい有機農業の拡大を推進します。

※1 観光振興において、地域が自らの手でマーケティングやPR、品質管理や資源管理などを行うための担い手となる組織のことです。

3. ふるさとの未来に責任を持つまちづくり

ICT^{※2}の活用による行政コストの削減をはじめ、民間活力の導入や、広域行政の推進に取り組む、限られた財源を効率的に活用していきます。

また、豊かな自然環境を地域文化とともに次世代に引き継ぐために、市民や事業者等と行政が役割を分担しながら、地域環境を守り育てる仕組みづくりや、地域に根付いた文化に関心を持ち、自主的に活動する意識の醸成を図ります。

● 主な取組

- 1 ICTを活用し、業務の省力化による行政コストの削減と、行政手続きの効率化や簡素化による市民の利便性向上を図ります。
- 2 公共施設等の総合的な管理に取り組むとともに、学校等の公共施設の統合や複合化により生じた施設は、民間活力を導入し、地域への貢献や地域の活性化に資する事業を展開します。
- 3 水道事業・火葬場・廃棄物処理事業の広域運用を進めるとともに、公共施設の共同利用をはじめとする広域行政の連携強化を図ります。
- 4 公共施設への省エネルギー設備の導入を推進し、再生可能エネルギーの有効活用による温室効果ガスの削減をはじめ、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進、食品ロスの削減等に配慮したライフスタイルの定着に向けた取組を推進し、豊かな自然を次世代に継承します。
- 5 市民がふるさとの未来に関心を寄せ、誇りを持てるよう、学習機会の提供や文化活動を支援するとともに、特に若い世代を中心に、市民が主体的にまちづくりに参画し、既存の概念に捉われない様々なアイデアを行政とともに実現できる取組を推進します。

※2 インターネットをはじめとした情報通信分野の技術の総称のことです。

基本方向01 安心・安全でいきいきとした暮らしづくり



【基本政策】

- 01 保健・医療の充実
- 02 社会福祉の充実
- 03 防災・消防体制の充実
- 04 生活安全の充実

【主な基本計画事業等】

- 健康診査事業
- 生活困窮者自立支援事業
- ◎蕨根駅整備事業
- 介護予防事業
- 障がい者自立支援等給付事業
- ◎同報系無線デジタル化整備事業
- ◎耐震性貯水槽補修事業
- ◎高規格救急自動車購入事業
- ◎防犯ボックス整備事業
- 消費生活センター事業

基本方向02 子どもを育む環境づくり

【基本政策】

- 01 子育て支援の充実
- 02 学校教育の充実
- 03 青少年の健全育成

【主な基本計画事業等】

- 子ども医療費助成事業
- ◎民間保育園等施設整備費補助事業
- ◎保育士確保対策事業
- 幼稚園保育料無償化事業
- ◎金田小学校・太田中学校校舎増築事業
- 外国語指導助手（ALT）配置事業
- 幼児言語教室運営事業
- 放課後子ども教室推進事業



基本方向03 まちを支える人づくり



【基本政策】

- 01 社会教育の推進
- 02 スポーツ・レクリエーションの振興
- 03 市民文化の充実
- 04 人権擁護・男女共同参画の推進

【主な基本計画事業等】

- きさらづ出前講座事業
- ◎生涯学習バス更新事業
- ブックスタート事業
- ◎江川総合運動場拡張整備事業
- 全国大会等出場奨励金事業
- ◎中規模ホール建設事業
- ◎博物館空調設備改修事業
- ◎上総金鈴塚古墳出土品再整理報告書等刊行事業

基本方向04 まちのにぎわい・活力づくり



【基本政策】

- 01 企業誘致の推進
- 02 産業の振興
- 03 観光の振興
- 04 広域交流・国際交流の推進

【主な基本計画事業等】

- ◎企業誘致奨励金事業
- ◎農業次世代人材投資事業
- 農作物被害対策事業
- ◎東京湾漁業総合対策事業
- 産業・創業支援センター事業
- アクアコイン普及推進事業
- 木更津版DMO推進事業
- ◎みなとの賑わい創出事業
- ◎パークバeproジェクト推進事業
- 国際施策推進事業

基本方向05 まちの快適・うるおい空間づくり

【基本政策】

- 01 土地利用の適正化
- 02 都市環境の充実
- 03 交通環境の充実
- 04 生活環境の充実
- 05 自然環境の保護・環境の保全

【主な基本計画事業等】

- 立地適正化計画策定事業
- ◎金田西特定土地地区画整理事業負担金
- ◎街なか居住マンション建設補助・取得助成事業
- ◎中心市街地活性化基本計画策定事業
- ◎公園整備事業
- ◎景観形成推進事業
- ◎道路ストック定期点検・修繕事業
- ◎地域公共交通再編事業
- ◎（仮称）第2期君津地域広域廃棄物処理事業
- ◎新火葬場整備事業
- ◎住宅用省エネルギー設備設置導入促進事業



構想の実現に向けて



【基本政策】

- 01 市民参加の推進・情報発信力の強化
- 02 協働の推進
- 03 質の高い行財政運営の推進
- 04 広域行政の推進
- 05 ICT活用の推進

【主な基本計画事業等】

- ◎木更津まちづくりコンテスト事業
- 移住・定住推進事業
- ◎オーガニックシティ推進事業
- 市民協働のまちづくり活動支援事業
- 行政ポイント推進事業
- ◎庁舎整備事業
- ◎土地開発公社経営健全化に伴う土地購入
- ◎公共施設耐震診断事業
- ◎ICT等導入事業
- モバイルワーク推進事業